

設計及び工事計画軽微変更届出書
(東海第二発電所の設計及び工事の計画の変更)

発室発第58号
令和4年7月29日

原子力規制委員会 殿

東京都台東区上野五丁目2番1号
日本原子力発電株式会社
取締役社長 村松 衛

別紙のとおり設計及び工事の計画を変更したので、核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の9第6項の規定により届け出ます。

本資料のうち、は商業機密又は核物質防護上の観点から公開できません。

I. 氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名

名 称	日本原子力発電株式会社
住 所	東京都台東区上野五丁目2番1号
代表者の氏名	取締役社長 村松 衛

II. 変更に係る発電用原子炉施設の概要

1 発電用原子炉を設置する工場又は事業所の名称及び所在地

名 称	東海第二発電所
所在地	茨城県那珂郡東海村大字白方1番の1

2 発電用原子炉施設の出力及び周波数

出 力	1,100,000 kW
周波数	50 Hz

3 変更に係る発電用原子炉施設の種類

7 原子炉格納施設

3 圧力低減設備その他の安全設備

(7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備

(7.1) 原子炉建屋ガス処理系

(7.1.2) 非常用ガス処理系

ル 主配管

・常設

III. 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の9第1項又は第2項の認可年月日及び認可番号

認可年月日 平成30年10月18日

認可番号 原規規発第1810181号

IV. 変更の内容

別紙-1のとおり

V. 変更の理由

平成30年10月18日付け原規規発第 1810181 号にて認可された工事計画において、適正化が必要な箇所が認められたため以下のとおり変更を行った。なお、他の関連する添付書類への影響はなく、記載の変更は生じない。

- (1) 非常用ガス処理系主配管の要目表（別紙－1）の適正化

なお、平成30年10月18日付け原規規発第 1810181 号にて認可された工事計画の頁番号に「軽一」を追記する。

ル 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料 (常設及び可搬型の別に記載し, 可搬型の場合は個数及び取付箇所を付記すること。)

・常設

		変更前					変更後																																				
名称		最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称		最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ (mm)	材料																														
非 常 用 ガ ス 処 理 系	非常用ガス処理系分岐点 ～ 非常用ガス処理系フィルタ トレイン	0.014*8	86	457.2*8	[] (14.3*1, *8)	SM41B*8	非 常 用 ガ ス 処 理 系	変更なし																																			
				457.2	[] (14.3*1)	SM400C																																					
		0.014*5	86*5	457.2	14.3*1	STPT410																																					
				/355.6	/11.1*1																																						
	0.014*8	86	355.6	11.1*1, *2	STPT410																																						
			457.2	[] (8.0*1)	SUS304																																						
	0.014*5	86*5	559.0	1.5*1×1*7	SUS304																																						
	非常用ガス処理系フィルタ トレインA ～ 非常用ガス処理系フィルタ トレイン出口管合流点	0.014*8	86	457.2*8	[]	(14.3*1, *2, *8)								SM41B*8	非 常 用 ガ ス 処 理 系	変更なし																											
					[]	(14.3*1, *2, *8)								SM41B*8																													
	非常用ガス処理系フィルタ トレインB ～ 耐圧強化ベント系配管合流点	0.014*8	86	457.2*8	[]	(14.3*1, *2, *8)								SM41B*8								非 常 用 ガ ス 処 理 系	変更なし																				
					[]	(14.3*1, *2, *8)								SM41B*8																													
	耐圧強化ベント系配管合流点 ～ 非常用ガス処理系フィルタ トレイン出口管合流点	0.62*5	200*5	457.2*3	[]	(14.3*1, *3)								SM400B*3															非 常 用 ガ ス 処 理 系	変更なし	変更なし												
/457.2*3				[]	(14.3*1, *3)	SM400B*3																																					
0.014*8	86	457.2*8	[]	(14.3*1, *8)	SM41B*8	非 常 用 ガ ス 処 理 系	変更なし	変更なし																																			
			0.62*5	200*5	[]									(14.3*1, *8)																						SM41B*8							
非常用ガス処理系 フィルタトレイン 出口管合流点 ～ 非常用ガス処理系 排気筒接続部	0.014*8	86	457.2*8	[]	(14.3*1, *8)									SM41B*8																						非 常 用 ガ ス 処 理 系	変更なし	変更なし					
				0.62*5	200*5									[]																													(14.3*1, *8)
	0.014*8	86	457.2	[]	(14.3*1, *2)									SM400B*8																													
				0.62*5	200*5									[]																													(14.3*1, *2)
	0.014*8	86	457.2	457.2	[]									(14.3*1)	SFVC2B	非 常 用 ガ ス 処 理 系	変更なし	変更なし																									
				457.2	[]									(14.3*1)	SFVC2B																												
0.014*8	86	457.2	457.2	14.3*1	SUS316TP																																						
			0.62*5	200*5	457.2									[]	(14.3*1, *2)							SUS316																					
0.62*5	200*5	550.0	550.0	1.5*1×2*6	SUS316																																						
			558.0	1.5*1×2*6	SUS316																																						

注記 *1: 公称値を示す。

- *2 : エルボにあつては、管と同等以上の厚さのものを選定。
- *3 : 本設備は既存の設備である。
- *4 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（耐圧強化ベント系）と兼用する。
- *5 : 重大事故等時における使用時の値を示す。
- *6 : 2層を示す。
- *7 : 1層を示す。
- *8 : 記載の適正化を行う。平成 30 年 10 月 18 日付け原規規発第 1810181 号にて認可された既工事計画書の変更前の記載。